



学 会 通 信

第 112 号

2024 年 9 月 20 日発行

目次

2024 年度定例会総会開催通知（会告） 2

2024 年度 日本教育メディア学会 第 31 回年次大会【最終報】 8

国際学会 ICoME2024 開催報告 9

2024 年度 第 1 回研究会のご報告 12

論文投稿のご案内 13

学会費納入のお願い，入会者・退会者 14

2024 年度定例会総会開催通知（会告）

正会員各位

下記により 2024 年度日本教育メディア学会定例会総会を開催いたします。会員各位の出席をお願いいたします。なお、ご出席されない方は、事務局から送られたメールに記載されている様式で委任状をお送りください（2024 年 10 月 4 日（金）締め切り）。

2024 年 9 月 10 日
日本教育メディア学会
会長 中橋 雄

記

1.日 時：2024 年 10 月 5 日（土）13:00－13:50（年次大会第 1 日目）

2.場 所：鹿児島女子短期大学

3.内 容：

（1）議案

第 1 号議案 2023 年度事業報告及び収支決算承認の件

- ①機関誌発行
- ②年次大会の開催
- ③学術交流等
- ④2023 年度収支決算（案）、監査報告

第 2 号議案 2024 年度事業計画及び収支予算承認の件

- ①機関誌発行
- ②年次大会の開催
- ③学術交流等
- ④Web サイトの改修
- ⑤2024 年度収支予算（案）

第 3 号議案 第 11 期会長・理事・監事・評議員承認の件

第 4 号議案 名誉会員承認の件

第 5 号議案 その他

(2) 報告事項

- ①表彰「日本教育メディア学会論文賞」審査経過と結果報告
- ②2025 年度年次大会の件
- ③その他

以上

(1) 議案

第 1 号議案 2023 年度事業報告及び収支決算承認の件

2023 年度に実施した事業は次のとおりである。

①機関誌発行

- 1. 「教育メディア研究」第 30 巻 1 号, 第 30 巻 2 号を刊行し, 在会会員に配布した。
- 2. IJEMT Vol.17, No.1 および Vol.17, No.2 を刊行した。
- 3. 学会通信第 106 号 (2023 年 5 月 17 日発行), 第 107 号 (2023 年 6 月 24 日発行), 第 108 号 (2023 年 10 月 12 日), 第 109 号 (2024 年 1 月 24 日発行) を刊行し, 会員に配布した。

②年次大会の開催

日本教育メディア学会第 30 回年次大会を, 関西大学初等部で開催した (2023 年 11 月 4 日-5 日)。
また, 「第 30 回年次大会発表論文集」を刊行し, 申込者に配布した。

③学術交流等

- 1. 次の研究会を開催した。

(1) 2023 年度第 1 回日本教育メディア学会研究会

(2023 年 6 月 17 日・桃山学院大学)

(2) 2023 年度第 2 回日本教育メディア学会研究会

(2024 年 3 月 17 日・長崎大学)

- 2. ICoME2023 を共同開催した。

(2023 年 8 月 16 日~18 日: 対面開催 (事務局: 中国, 温州大学))

- 3. 企画委員会による年次大会での企画委員会セッションの開催

④2023 年度収支決算 (案), 監査報告

2023 年度収支決算 (案) を次ページに記す。

2023年度 決算報告

財務諸表

1 貸借対照表 2024年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	6,633,012	6,629,373	3,639
仮払金	0	0	0
流動資産 計	6,633,012	6,629,373	3,639
資産 計	6,633,012	6,629,373	3,639
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0	0	0
預り金	0	26,546	-26,546
流動負債 計	0	26,546	-26,546
負債 計	0	26,546	-26,546
III 正味財産の部			
1 一般正味財産			
正味財産 計	6,633,012	6,602,827	30,185
負債及び正味財産 計	6,633,012	6,629,373	3,639

2 正味財産増減計算書

2024年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常収益の部				
(1)経常収益				
①入会金	100,000	90,000	10,000	*入会金小計
入会金	100,000	90,000	10,000	正会員30名, 学生会員20名
②会費	2,639,000	2,705,000	-66,000	*会費小計
正会員会費	1,911,000	1,981,000	-70,000	273名分(昨年度283名, 正会
学生会員会費	148,000	164,000	-16,000	37名分(昨年度41名, 学生会
団体会員年会費	300,000	300,000	0	6団体分(団体会員6団体)
購読会員年会費	42,000	35,000	7,000	6会員分(購読会員6会員)
過年度正会員会費	203,000	189,000	14,000	のべ29名分
過年度学生会員	28,000	36,000	-8,000	のべ7名分
過年度団体会員年会費	0	0	0	
過年度購読会員年会費	7,000	0	7,000	1会員分
③事業収益	1,059,000	651,000	408,000	*事業収益小計
刊行物頒布収入	200,000	100,000	100,000	別刷印刷の著者購入代
全国大会参加費収入	469,000	551,000	-82,000	173名分(現職初等中等教員
全国大会懇親会収入	390,000	0	390,000	
④雑収益	58	764	-706	*雑収益小計
受取利息	58	53	5	利息
授業目的公衆送信補償金	0	711	-711	
経常収益 計	3,798,058	3,446,764	351,294	*年度の総収入額
(2)経常費				
①事業費	3,010,022	2,277,841	732,181	*事業費小計
通信運搬費	72,044	54,734	17,310	学会誌・別刷郵送費, 請求書
システム運営費	643,727	342,170	301,557	査読システム費, 研究委員会
消耗品費	122,494	188,202	-65,708	年次大会開催のための消耗
印刷製本費	503,500	447,700	55,800	教育メディア研究30(1)・
会議費	523,845	80,000	443,845	年次大会会議費, 懇親会代,
顕彰事業費	50,000	55,859	-5,859	論文賞賞金
旅費交通費	129,190	95,970	33,220	年次大会講師交通費
支払手数料	161,322	93,215	68,107	年次大会 Peatix 利用手数料
委託費	441,000	489,000	-48,000	論文誌製本作業費
諸謝金	30,000	45,000	-15,000	年次大会講師謝金
雑費	332,900	385,991	-53,091	年次大会等の運営補助費
②管理費	757,851	826,017	-68,166	*管理費小計
通信運搬費	0	5,300	-5,300	業者との通信費等
システム運営費	312,688	307,474	5,214	会員管理システム利用料(年
旅費交通費	0	29,600	-29,600	監査に係る旅費
消耗品費	0	0	0	事務局文具等
支払手数料	115,163	113,643	1,520	会員管理システム利用手数料
諸謝金	320,000	370,000	-50,000	事務局補助謝金
雑費	10,000	0	10,000	教育関連学会連絡協議会年会
経常費用 計	3,767,873	3,103,858	664,015	*年度の総支出額
当期一般正味財産増減額	30,185	342,906	-312,721	*学会の財産の1年間にお
一般正味財産期首残高	6,602,827	6,259,921	342,906	*年度初めの資産の額
一般正味財産期末残高	6,633,012	6,602,827	30,185	*年度終わりの資産の額
II 正味財産期末残高	6,633,012	6,602,827	30,185	*本学会の資産の額

「*」がある備考欄は科目そのものの説明

第 2 号議案 2024 年度事業計画及び収支予算案

2024 年度に実施する事業は次のとおりである。

①機関誌発行

1. 「教育メディア研究」第 31 巻 1 号, 第 31 巻 2 号を刊行し, 会員に配布する。
2. IJEMT Vol.18, No.1 および Vol.18, No.2 を刊行する。
3. 学会通信第 110 号～第 113 号を刊行し, 会員に公開する (メーリングリスト, Web サイト)。

②年次大会の開催

日本教育メディア学会第 31 回年次大会を, 鹿児島女子短期大学で開催する (2024 年 10 月 5 日～6 日)。また「第 31 回年次大会発表論文集」を刊行し, 申込者に配布する。

③学術交流等

1. 次の研究会を開催する。

(1) 2024 年度第 1 回日本教育メディア学会研究会

(2024 年 7 月 28 日・中京大学)

(2) 2024 年度第 2 回日本教育メディア学会研究会

(日程調整中・京都教育大学)

2. ICoME2024 を共同開催する。

(2024 年 8 月 21 日～23 日: 対面開催 (事務局: 日本, 明治大学中野キャンパス))

④Web サイトの改修

レスポンシブデザインに対応した学会 Web サイトの改修を行う。

⑤2024 年度収支予算 (案)

2024 年度収支予算 (案) を次ページに記す。

2024 年度収支予算案
2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日

(単位：円)

科 目	2024 年度予算額	2023 年度予算額	予算額の差異	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常収益の部				
(1)経常収益				
①入会金	60,000	60,000	0	*入会金小計
入会金	60,000	60,000	0	
②会費	2,684,000	2,473,000	211,000	*会費小計
正会員会費	2,030,000	1,890,000	140,000	7,000 円×322 名の納入率約 90%
学生会員会費	244,000	180,000	64,000	4,000 円×68 名の納入率約 90%
団体会員年会費	300,000	300,000	0	50,000 円×6 団体
購読会員年会費	42,000	42,000	0	7,000 円×6 会員
過年度正会員会費	35,000	35,000	0	7,000 円×5 名 (未納者の約 30%)
過年度学生会員	12,000	12,000	0	4,000 円×3 名 (未納者の約 30%)
過年度団体会員年会費	0	0	0	
過年度購読会員年会費	21,000	14,000	7,000	7,000 円×のべ 3 会員(3 年分)
③事業収益	870,000	510,000	360,000	*事業収益小計
刊行物頒布収入	160,000	160,000	0	別刷印刷の著者購入代
全国大会参加費収入	350,000	350,000	0	3,000 円×110 名 (正会員)
全国大会懇親会収入	360,000			6,000 円×60 名
研究会投稿料	80,000			2,000 円/件×40 件
④雑収益	60	55	5	*雑収益小計
受取利息	60	55	5	利息
授業目的公衆送信補償金	0	0		
経常収益 計	3,614,060	3,043,055	571,005	*年度の総収入額
(2)経常費用				
①事業費	4,214,230	2,537,920	1,676,310	*事業費小計
通信運搬費	76,000	61,000	15,000	学会誌・別刷郵送費, 請求書等郵送費
システム運営費	742,230	311,000	431,230	査読システム利用費, Web サーバ料金
消耗品費	142,000	226,270	-84,270	年次大会開催のための消耗品, 論文賞
印刷製本費	520,000	450,000	70,000	教育メディア研究 30(1)・30(2), 別刷
会議費	770,000	260,000	510,000	理事会・年次大会会議費, 弁当茶菓子
顕彰事業費	50,000	50,000	0	論文賞賞金
旅費交通費	150,000	100,000	50,000	年次大会招聘旅費等
支払手数料	168,000	116,650	51,350	年次大会システム利用手数料, 振込手
委託費	596,000	500,000	96,000	論文誌作業費
諸謝金	50,000	65,000	-15,000	年次大会講師謝金
雑費	950,000	398,000	552,000	年次大会・事務局論文誌発送等の運営
②管理費	910,000	821,000	89,000	*管理費小計
通信運搬費	5,000	6,000	-1,000	委嘱状送付など
システム運営費	400,000	310,000	90,000	会員管理システム利用料 (年間), e 選
旅費交通費	50,000	50,000	0	監査に係る旅費
消耗品費	5,000	5,000	0	事務局文具等
支払手数料	120,000	120,000	0	会員管理システム利用手数料, 振込手
諸謝金	320,000	320,000	0	事務局補助謝金
雑費	10,000	10,000	0	教育関連学会連絡協議会年会費
経常費用 計	5,124,230	3,358,920	1,765,310	*年度の総支出額
当期一般正味財産増減額	-1,510,170	-315,865	-1,194,305	*学会の財産の 1 年間における増減
一般正味財産期首残高	6,633,012	6,259,922	373,090	*年度初めの口座残高の額
一般正味財産期末残高	5,122,842	5,944,057	-821,215	*年度終わりの口座残高の額
II 正味財産期末残高	5,122,842	5,409,172	-286,330	*本学会の資産の額

「*」がある備考欄は科目そのものの説明

2024 年度 日本教育メディア学会 第 31 回年次大会【最終報】

大会プログラムを公開しました。

<https://jaems.jp/conference-31th-2nd/>

日程：2024 年 10 月 5 日(土)・6 日(日)

場所：鹿児島女子短期大学

<https://www.jkajyo.ac.jp/introduction/access/>

時程

<1 日目>

12:00－ 受付

13:00－13:50 総会

14:00－14:50 大会企画 講演「2nd GIGA 時代に期待される教育メディア研究」
東京学芸大学教職大学院 堀田龍也先生

15:00－16:30 シンポジウム

16:40－18:10 一般研究発表(1)

18:20－18:50 新・理事会

19:00－ 懇親会

TO THE HERBS (トゥ・ザ・ハーブズ) 鹿児島店
鹿児島市高麗町 17-5 099-285-2220

<2 日目>

09:00－10:30 一般研究発表(2)

10:40－12:10 一般研究発表(3), 企画委員会企画「現職教員のための実践研究はじめの一步」

12:10－13:10 昼食

13:10－15:10 課題研究

参加費未納の方は必ず Peatix よりお支払いください。

<https://2024jaems-annual.peatix.com/>

懇親会について、参加チケットが【事前予約制 9/2 まで】と表示されていますが【まだ受付中】です。大会のチケットを既に購入済みの方も、懇親会チケットは追加で購入することができます。ぜひご参加ください。

国際学会 ICoME2024 開催報告

ICoME2024 (22nd International Conference for Media in Education 2024) を以下の通り開催しました。

- ▶ 日程：2024年8月21日（火）から23日（木）の3日間
- ▶ 場所：明治大学中野キャンパス
- ▶ 参加者数：238名
- ▶ 発表件数：145件（Concurrent Session：89件，Roundtable Session：56件）

ICoME (International Conference for Media in Education) 2024 は、今回で第22回目の実施となりました。日本教育メディア学会 (JAEMS)，韓国教育情報メディア学会 (KAEIM)，中国教育工学会 (CAET)，アメリカ TCC (Technology, Colleges and Community) オンラインカンファレンスとの連携によって、2024年8月21日から23日に、明治大学にて開催されました。なお、日本における対面での ICoME 開催は、2016年以來となりました。

今回の ICoME は、日本、韓国、中国、米国に加え、フィリピン、タイ、ネパール、ソロモン諸島、キルギス、南アフリカ、オーストラリア、トルコ、ブラジル、モロッコ、メキシコ、ベルギーの16か国から合計238名の参加がありました。発表件数は145件で、開催直前の地震や台風の影響で数件はオンラインになりましたが、ほぼ予定どおり対面で実施することができました。

ICoME2024 のテーマは「Performative Approach to Media Studies in Education」です。日本だけでなく世界各国で教育における ICT 活用が推進される中、従来の教師による教え込みから、学習者自らがこれらの ICT を活用し、主体的で対話的、協働的な学びが行われています。こうした新しい教育の実態を捉える上で、米国の発達心理学者 Lois Holzman 博士のパフォーマンス心理学を手がかりに、新たな教育メディア研究の可能性を探ることにしました。

ICoME2024 の1日目の午前では、Lois Holzman 先生をお招きし「Performative Approach for Development in Education」をテーマに講演いただきました。教育メディアを単なる教える道具、学ぶ道具として扱うのではなく、教育学習環境およびそれを活用する教師や児童生徒を「変革」させる主体として捉え、「パフォーマンス」を分析の単位として学習を捉えるパフォーマンス心理学について、その理論や具体的な実践について議論いただきました。質疑応答では、発達の間における「他者」として生成 AI がどのような役割を担うのか、メタバースなどバーチャル空間におけるメディアのアレンジメントは児童生徒の学習発達にどのような影響を与えるかなどの議論が行われました。

午後のセッションでは、院生や実践者を中心とした Roundtable Session を実施しました。Roundtable session では、発表よりも議論を中心とした場をつくりました。同じような興味関心・問題意識や方法論で研究を行う発表者がグループとなり、それぞれ発表を行ったあと共通のテーマで議論を行いました。学会参加者はその議論を聞きながらも適宜参加し、その議論を深めていきました。

夕方のセッションでは、Meet-up & Networking Session を実施し、その中で大澤広暉先生（金城学院

大学) のファシリテーションによる参加者の学術的交流として写真を用いたワークショップを実施しました。参加者らがパフォーマンス的な関わりの中で研究や実践について会話ができることを目的としました。

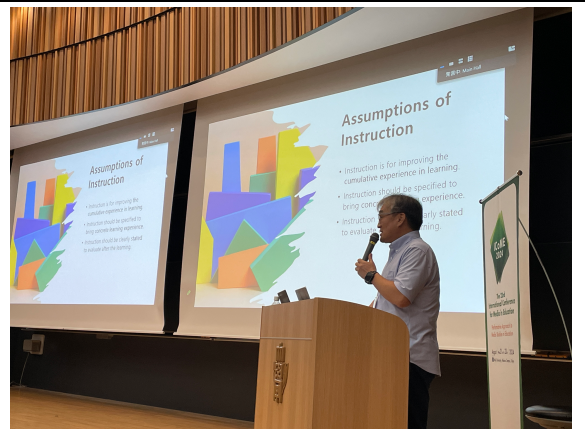
翌日 2 日目の午前は山本良太会員 (大阪教育大学) のコーディネートによってパネルディスカッションが行われました。初日のキーノートの理論的枠組みをもとに、日本、韓国、フィリピンで最新の教育実践に取り組む 3 人の実践者/研究者に登壇いただき、具体的な事例を紹介いただきました。鈴木慶樹教諭 (瀬戸 SOLAN 小学校) には、児童の個別および協働的な探究を支える ICT を含む教育学習環境デザインについてお話いただきました。Roberto B. Figueroa 先生 (University of the Philippines Open University) からは、メタバースにおける国際協働学習の事例が紹介されました。Jeeheon Ryu 先生 (Chonnam National University) からは、AR, VR など XR, メタバースなどのバーチャル教育学習空間をどのようにデザインしているのか、教育理論などをもとに具体的な設計についてお話いただきました。3 人の登壇者のご発表のあと、ディスカッサントである岸磨貴子会員 (明治大学) と川島裕子会員 (関西大学) から、事例を **Performative Approach** の観点から深めていくための指定討論を行いました。さらに、萩原健先生 (明治大学) から、「舞台」の観点から教育学習環境を深めるご講演をいただきました。萩原先生は、舞台芸術を専門とされており、本学会のテーマであるパフォーマンスと密接に関連する「舞台」をメタファーとすることで、舞台としての教室をどのようにデザインすればいいかについて理解を深めることができました。パネルディスカッションの後半では、これらの議論をもとに参加者同士がグループになって意見交換し、ホール全体で共有しました。

2 日目の午後は、**Concurrent Session** を実施しました。研究者による発表であり、学術的な議論が活発に交わられていました。夕方には、本学会の主要団体である日本、韓国、中国、米国の代表者による講演が行われました。各国における教育メディア研究の動向やトレンドが紹介され、共通のテーマやそれぞれが持つ異なる問題意識が浮き彫りになりました。

3 日目は、デジタルシンキングツール、ドキュメンタリー演劇、アートベース・リサーチ、AI リテラシー、平和構築、探究学習のデザイン、**COIL** をテーマとした 7 つのワークショップが実施されました。創作や対話を中心としたもので、国際色豊かな参加者同士で活発な議論が行われました。

また、1 日目と 2 日目を通して、語学学習のためのメタバースの体験、AI を活用した語学学習、バーチャルライティにおける協働学習の体験など、6 つの **Showcase** が設置されました。

ご参加くださいました皆さま、**Showcase** に出展いただいた企業や大学の皆さま、学会運営に協力してくださったスタッフの方々に対し、心より御礼申し上げます。次年度の **ICoME2025** は、**KAEIM** のホストによって韓国にて開催されます。開催校は、仁川市の **Inha University** を予定しています。日程や最終的な開催場所については、確定次第学会ウェブサイトにて報告いたします。次年度も皆さまと会場にてお会いできることを心より楽しみにしております。



2024 年度 第 1 回研究会のご報告

テーマ「探究的な学びとメディア／一般」

2024 年度第 1 回研究会が、2024 年 7 月 28 日（日）に中京大学名古屋キャンパスで開催されました。今回の研究会は前回に引き続き、対面およびオンラインでのハイブリッド開催となりました。

研究会のテーマは「探究的な学びとメディア／一般」として募集を行い、20 件の発表がありました。そのうち対面発表は 16 件、オンライン発表は 4 件でした。また、60 名を超える参加があり、会場にも 35 名の参加者が集まりました。

研究会では、アプリケーションやデジタル教材など様々なメディアの利用特性に関する研究や、メディア・リテラシーに関わる調査研究や実践研究に加え、生成 AI を活用した実践に関する研究が発表されました。また、今回のテーマと関わって探究学習に関する研究についても発表がありました。小学校教員の方や企業の方、また学生の方からも発表があり、さまざまな立場から活発な議論が行われました。



今年度より、研究会の発表原稿は JSTAGE で公開されることとなります※。それに伴い、申し込み手続き等において、昨年度からいくつか変更がありました。みなさまのご理解とご協力により、無事に研究会を開催することができました。

座長をはじめ、ご参加いただいたみなさま、また会場を提供し運営をお手伝いくださった中京大学の方々に、心より御礼申し上げます。

※<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jaemsstudy/-char/ja>

文責：小島亜華里（奈良教育大学）

論文投稿のご案内

編集委員会

『教育メディア研究』特集号「教育メディアの活用と協働学習」(Vol.31, No.2)の論文は、2024年8月20日で締め切りました。多くの投稿ありがとうございました。現在審査を進めております。

なお一般論文は随時受け付けております。

Vol.31, No.2は、2025年2月末に発刊を予定しております。

Vol.32, No.1は、2025年8月末に発刊を予定しております。

「投稿規程」(<https://jaems.jp/kitei/>)を熟読の上、「テンプレート・投稿方法」のページから登録と投稿を行ってください(<https://jaems.jp/guideline/>)。

多く会員からの投稿をお持ちしております。

以上

学会費納入のお願い，入会者・退会者

◆ 学会費納入のお願い ◆

<納入のお願い>

2024年度（2024年4月1日－2025年3月31日）の年会費（正会員7,000円，学生会員4,000円）が未納の方は，会員システムからお手続きください。学会HPの「会員マイページ」よりアクセスいただくことが可能です。事務手続きの漏れを防ぐためにも，会員システムを通じたお支払いにご協力ください。

銀行振り込みをご希望の場合，下記口座にお振り込みいただくようお願いいたします。

<送金先>

銀行名：ゆうちょ銀行 種目：普通 店番：418 店名：四一八店（ヨンイチハチ店） 口座番号：0865850 名義：日本教育メディア学会（ニホンキョウイクメディアガッカイ）
--

※ゆうちょ銀行口座からの振り込みの場合は，下記記号番号をご利用ください。

記号：14160

番号：8658501

- ※ 振込手数料は，ご負担ください。ゆうちょ銀行口座からATMを使って納入いただく場合，手数料は無料です。
- ※ ご自身のゆうちょ銀行口座以外から振り込む場合は，**振込人名義を「学会名簿に登録した会員氏名」**にして下さい。それが出来ない場合は振込後，事務局にメールでご連絡ください。
- ※ 過年度年会費をまとめて振り込む場合には，学会事務局にご連絡ください。
- ※ 学生会員は，会費納入に併せて**年度ごと**に学生証などの証明書類のスキャンまたは写真データを会員システム経由で事務局宛に提出してください。**卒業・修了などにより学生会員の条件を満たさなくなった場合は事務局にメールでお知らせください。**

◆ 登録情報更新のお願い ◆

本学会では，「学会通信」および重要なお知らせを電子メールで会員に配信しております。また，学会論文誌「教育メディア研究」をご登録の住所に郵送しております。メールの不達，年度末の学会誌の返送が複数発生しております。確実にお届けするために，定期的に会員マイページにログインの上，登録情報の確認をよろしくお願いいたします。

また，まだ会員システムからマイページへのログイン登録がお済みでない方も，この機会にマイページ登録 (<https://jaems.jp/admission/mypage/>) をお願いいたします。

【入会者・退会者・除籍者】※敬称略

入会者・正会員（11名）・・・林 向達(再入会)，反田 任，植田 寛，丸岡 慎一，圓林 真吾，

中前 雅美, 鈴木 有香, 織田 裕二, 北川 剛司, 藤川 由佳, 小崎 誠二
入会者・学生会員（5名）・・・大庭 佑紀子, 王 書, 侯 博瀚, 樽見 真衣, 角田 莉穂

会費滞納に関する取り扱いを定めております会則第9条では、会費滞納の会員に対する扱いについて以下のように定めております。会費の納入状況についてご不明な点がございましたら、事務局（office@jaems.jp）までご連絡ください。

第9条

会員の会費の滞納による除籍については、以下のように定める。

- (1) 正会員, 学生会員, 団体会員ならびに購読会員が、会費を3年間滞納したとき、その年度末をもって除籍され、会員の資格を喪失する。
- (2) 除籍された元会員が再入会するとき、滞納会費の納入を要する。

会員総数 402名・12団体

名誉会員：7名*

正会員：332名

学生会員：70名

団体会員：6団体

購読会員：6団体

(2024年9月10日現在)

*会員総数に含まず。7名の氏名は学会HPにて公開。

◆ 学会通信アーカイブ作成ご協力のお願い ◆

本学会は定期的に学会通信を発行し、学会HPにて公開しています。現在、一部未公開となっている学会通信も揃えられるよう、学会事務局では以前の学会通信を探しております。お手元に**第1-16, 18, 27号**が紙もしくはデータ等で残っている場合、学会事務局(office@jaems.jp)までお知らせください。ご協力の程、何卒よろしく願いいたします。

日本教育メディア学会 事務局 〒191-8506 東京都日野市程久保 2-1-1 明星大学 教育学部 今野貴之 研究室内 E-mail : office@jaems.jp 学会ホームページ URL : http://jaems.jp/	広報委員会 委員長 岩崎千晶 (関西大学) 副委員長 永田智子 (兵庫教育大学) 委員 井ノ上憲司 (大阪大学) 尾崎拓郎 (大阪教育大学) 高橋暁子 (千葉工業大学) 多田泰紘 (京都橘大学)
--	--